

大本大阪本苑だより

本苑2月月次祭執行

節分が過ぎ穏やかな日となった2月9日(日)大本大阪本苑では午前10時より2月月次祭を、齋主湯田義宗参事のもと厳粛に執行された。参拝者211人。祓式行事、齋主拝礼、献饌の後、齋主「月次祭祝詞並びに誕生祭祝詞」引き続き「新型コロナウイルス早期終息祈願祝詞」を奏上。玉串捧奠では、齋主に続き伊藤忠茂本苑長、各代表者、参拝の青少年全員、2月誕生月該当者が敬虔に玉串を捧奠した。齋主先達「神言」を奏上。讚美歌斉唱後、乙姫様の礼拝を行い祭典は終了した。御神諭拝読は小佐々明夫次長が「おほもとしんゆ」を拝読。伊藤忠茂本苑長の挨拶では、「先日の入院にあたり皆様にご心配をお掛けし、また御祈願も頂き、この様に元氣に戻って来まして。」と感謝を述べた。また節分大祭のご奉仕並びにご参拝の方々にその労をねぎらった。また、新型コロナウイルスの蔓延、イギリスのEU離脱、中東における軍事的報復など世界は混迷を深めている中、私たち大人は「我よし強いもの勝ち」の世の中を拒み、正しい行いを発信していく事が、今の混沌とした世の中であるからこそ



「新型コロナウイルス早期終息祈願祝詞」奏上



教本認定授与



節分ご神水のご下付



の総仕上げとして、皆様の真心を是非お届け頂きたいと訴えた。続いて教本認定を取得された6人(一級3人、二級1人、三級2人)に認定書が授与された。青少年たちにお菓子が配られた後、西野泰宣教部長が「信仰のルーツ」を、湯田洋子様が「本苑での温かい絆」と題してミニ講話を行った。(下記参照) 足立正文参事のお知らせを終え直会となった。中庭では青少年を交えて餅つきが威勢よく搗かれ、大神様にお供えすると共に参拝者に振る舞われ、また節分大祭のご神水を各分所支部にご下付されると共に、参拝者の方々は頂かれた。楽しい一時も過ぎ、全員で基本伝歌斉唱し全ての行事が終了した。

大切であると述べた。さらにこれから始まる「綾の郷献金」について長生殿時代の

発行所
〒557-0012
大阪市西成区聖天下1丁目3-14
大本大阪本苑
☎(06)6651-5670
Fax(06)6651-6611

ミニ講話

「信仰のルーツ」

西野 泰 宣教部長

私は大本三世です。大本の信仰は祖父が最初信仰致しましたので、そこからお話しいたします。



祖父は徳島県小松島市の出身です。大阪の大学を卒業後、東京の国立の研究所に就職しその後、広島大学醸造学部の教授として勤めておりました。戦争が厳しくなつた昭和19年10月に祖父の父(私の曾祖父)が亡くなり祖父は長男であったため、敗戦の年の昭和20年春、家族とともに小松島に帰りました。もし曾祖父が元氣であれば、爆心地に近かった祖父たち家族は今ここにはいません。帰郷後、勤めていた日本資料というブドウ糖を製造する会社の本社工場のある最寄り駅が佐古駅でその駅長さんから大本の信仰を勧められたようです。(その駅長さんは御津ノ浜分所の御井さんのお父さんだと聞いております)「大本」の信仰に興味をもつた祖父の所へ多田宗泰さんと宮崎正先生の訪問を受け、その後何度もお会いして「大本」のお話を伺い入信を決意したようです。多田宗泰さんのご先祖は多田新田を開拓し、阿波の蜂須賀公が遊びにも見えたという旧家、現在は「瑞雲卿別院」となっており初代の別院長をされた方です。宮崎正先生は3兄弟で、末の松本まつ子先生は大阪でもご活躍され、導かれた信者さんが沢山おられると思います。正先生は小松島の家に何か月も逗留され、徳島県内の宣教に回られたりご神前でお取次をされるなど宣教にご活躍されました。松本まつ子先生も宣教の中継地としてお子様をおんぶされよく立ち寄りたらしいです。祖父の入信は21年8月ですから信者としては新しくしたので大変熱心で、大阪吹田工場への出張のたびに、亀岡まで足を延ばし参拝や御講話をよく聞いていたようです。昭和25年二代様の時代(大本愛善苑となっていた時)大本事件と敗戦と続き、信者さんが随分減りましたので教団を回復

すべく二代教主様のもと「梅花運動」という大宣活動が全国で展開せられ、二代教主様も全国をご巡教されました。その折、四国は小松島港に第歩を印され西野で泊まりました。信仰も浅いにお泊り頂いたのは祖父にとりまして大変ではありましたが、この上なき光栄であり、また喜びであったと聞いております。自宅は支部長会議も開かれ県内各支部から支部長が見えてましたし、「梅花運動」の時は青年が3、4名朝早くから夜遅くまで街頭で宣教活動されたので人の出入りが多く、私生活は無かつた聞いております。研修会やエスペラントの講習会も泊りがけであったようです。父の話では、徳島主会の看板が上がっており一時祖父が主会長をしておりましたから、そのためのご奉仕だったものと思います。当時の本部特派の先生は一度はお泊りになっていると思います。祖父が昭和52年、祖母が昭和55年に亡くなりました。昭和33年7月以来御奉齋しておりました小松島分所の大神様は、平成3年奈良に引越す迄分所としてお仕えさせていただきました。私は小学校から小松島へ引越しましたので「瑞雲卿別院」での夏季学級には参加しましたが、分所とか家の月次祭は参拝するのみで特に大本に関心があったわけではありません。ただ、祖霊社からご先祖の100年祭、2000年祭の案内状を見た時に「ご先祖様の御霊さんを自分が続けておまつりしなければ」という気持ち湧きました。今までは自分の生活環境が大本信者の家に生まれたという感じでした。成人して大道場修行を受けても何の抵抗もなく素直に受けられたのは、生まれた時から信仰をする家族の中で育つた環境のおかげでしょう。父に勧められて本部の祭式講習を受け4回目の時に、現本苑長の伊藤忠茂さんから「祭式2級なら本苑で祭官のご奉仕ができる」と声を掛けられ、本苑のご奉仕が始まりました。その後いろいろな人に声を掛けて頂き、現在では宣教部長として勉強させていただいております。祖父のように素直に信仰を受け止め活躍していきたいと思っております。

「本苑での温かい絆」城東分所 湯田 洋子



「Saluton」
こんな高い所より、失礼致します。節分大祭のご奉仕されました方々また、参拝されました方々お疲れ様でした。ようやく節分大祭も終わりホッと一息つかれた事と存じます。今日お話をさせて頂くのは、先月1月の乙姫様月次祭の御用をさせて頂く時の事で御座います。

当日体調が悪く無くなかったのですが、そのうち治るだろうと思いつつ天下茶屋駅まで来ました。近所で遠い長い一本道を祭服、お弁当もろもろ等のカバンを両手に持つてふうふうと言いながら本苑の玄関に着いた時、後ろから来られた島村直子さんに「おはよう」とお声を掛けて頂き「おはよう」と振り返りましたら「ええ」と顔をみられたので「今日は少ししんどいのよ」と言うと、早く飲ぎの部屋で足つぽマッサージをしてあげようと言っていました。私はあなたも早く来られているのは何かご奉仕されるのではとお尋ねしましたら「うんうんいいのって言われましたので、じゃ厚かましいけどお願いします」と言われて飲ぎの部屋に行きました。この日は、七草粥で机と座布団が用意されており、「ウワーお誂えだネ」と喜び敷かれていた座布団にうつ伏せになりマッサージを受け始めたのですが、とってもしんどく逃げ出したいくらい痛かったです。これを我慢すれば治るんだと治し貰いたいのでマッサージをうけました。30分程して頂き身体がだんだん暖かくなり呼吸も正常に戻り楽になりました。マッサージが終わって島村さんに御礼を言う時は、痛いのと感謝の気持ちで涙が頬を伝って落ちていました。島村さんが「今からお茶じゃ無くておさゆをコップ一杯飲んでネ」と言ってくれて下さり、はいと言わいなやおさゆを持って水田さんが来て下さいます。私はびっくりして、「何で？」と言ったら、この話を廊下で聞いたからって言って下さりました。その時は感謝の想いで一杯になり

有難い事でした、おさゆを飲み終わった頃、神島さんが来て下さり「神殿のお掃除はいからゆつくり休んでいいよ」と気遣って頂き嬉しかったです。他の方々からも大丈夫ですかとお声掛けて貰い嬉しかったです。リハーサルに時間には大分と身体も良く成りリハーサルに参加できました。
昼食の時もいつもは家から醤油を持って来るのにこの日は持ってきたので池田明美さんに弁当を渡して「下で醤油を掛けてきて貰える」とお願いしたら、よよし行って来てあげるって心良く行って下さいました、嬉しかったです。昼食も済み神饌物の献饌を待つだけだった頃に松本俊江さんが用事で私に会いに来て下さり、「祭管頑張ろうってネ」と握手をされた時「イヤー冷たい手」と驚かれたので「今日は少ししんどいね」と言うのと早速肩と背中を長い間摩って下さいました、とっても嬉しかったです。いざ本番ドキドキしながらも親切にして頂いた分任務ははたしたいと強く願いました。祭典行事は着々と進み祭員退場となりホッとしたしました。今回は皆様方の御蔭で御仕えさせて頂く事が出来て喜びと感謝でいっぱいでした。

こけている苗は起こしてやる、弱っている物には愛で支えてやる。あたりまえの様で当たり前が出来た私は此れからは本苑の皆様方と共に優しい絆を繋ぎ行けたらいいなと思っておりますので宜しくお願い致します。最後になりましたが、私事でお時間を頂き誠に有難う御座いました。
「Korandankonn」

節分大祭にご奉仕して

今年の大本節分祭にも、大阪本苑から多くの方々が夜を徹してご奉仕下さいました。ここに2人の方々に感想文をご投稿頂きました。(敬称略)

瀬織津姫ご奉仕 枚方 那須 真智子

昨年に引き続き瀬織津姫のご奉仕をさせて頂いて頂きました。今年は1月から体調を崩し、咳喘息が長引きましたので不安な日々を過ごしております。

節分が近づくとつれ、ご奉仕させていたたくのは無理とあきらめていたのですが主人のお取次ぎと「最後まであきらめないでさせていたたく準備をし、明るい気持ちで過ごさない。」の言葉に励まされ2月2日綾部に行かせていただきました。聖地に入ったとたん、咳が止まり、不思議に思いましたが神様からの守護を感じました。3日ご神前で一度も咳き込むことなくご用に務めさせて頂いたことが出来、感謝の気持ちでいっぱいです。

下足ご奉仕 玉川 神崎 真理子

令和の年の「節分大祭」に今年もご奉仕させて頂いて頂きました。とても穏やかな節分での数年雪景色は見られなくなりました。例年下足係でしたが、今年は福引き係も合わせてする事となりテントの中で色の違った玉が出る歓声があがりこちらまで嬉しくなり、いっぱい福をいただきました。帰りは大阪までバスの中でぐっすり眠って(笑)帰路に付きましました。毎年、聖地での節分大祭ご奉仕に楽しく参加させて頂き感謝です。

高熊山献勞報告

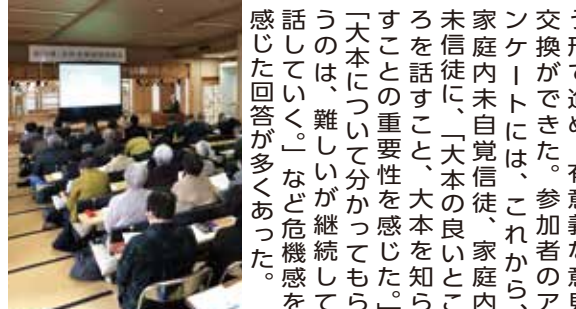
2月11日、恒例の高熊山献勞奉仕をさせて頂きました。大阪12人、奈良・和歌山各2人、神戸1人の計17人の参加がありました。親子連れの参加者もあり、幅広い世代で献勞作業が行われました。午前9時に天恩郷・万祥殿で修祓・お礼拝のあと、マイク口バスで高熊山登山口まで移動。昼食を挟んで午後3時過ぎまで作業し、おもに斜面の下草刈りと登山道の清掃を行いました。晴天のもと参加者は汗ばみながら一生懸命に作業し、ご神徳と心地よい疲労感に満たされました。

次回の高熊山献勞は7月23日(海の日)です。是非ご参加下さい!



宣伝使・分所支部役員 研修会開催報告

令和2年2月23日(日)大阪本苑で宣伝使・分所支部役員研修会が行われた。参加者は、各々20分所支部から82名の参加があった。本苑長による「新型コロナウイルス早期終息祈願祝詞」を奏上後、ご神前礼拝、八雲琴での鎮魂と続き、講話に移った。浅田秋彦先生より「めなしかたま」ナオの箱舟」ご神業とご奉仕」の講題でお話して頂き、大本信者の現状の詳しい説明があり、危機感を新たにされた。その後、足立参事による「分所支部のアンケート」の集計結果報告があり、大阪本苑の現状と後継者の減少を食い止める方法を示唆し、大いに参加者を賑わせた。昼食後、パネルディスカッションでは、本苑長、浅田先生、末延、田辺両特任宣伝使、那須青松会会長、西野みどり会会長にパネラーとして参加して、分所支部の活性化、後継者の育成、今の活動について、それぞれのパネラーから発言があった。その後、分所支部の役員から各分所支部の現状、活動などの発表があり、問題点をパネラーに答えてもらう形で進め、有意義な意見交換ができた。参加者のアンケートには、これから、家庭内未自覚信徒、家庭内未信徒に、「大本の良いところ」を話すこと、大本を知らすことの重要性を感じた。「大本について分かってもらうのは、難しいが継続して話していく。」など危機感を感じた回答が多かった。



なにはづ短歌会開催報告

去る2月8日(土)第101回なにはづ短歌会が浅田弘子先生ご指導のもと開催された。(出席者9名・詠草26首)出席者は少なめでしたが充実した歌会となりました。

短歌会は毎月本苑月次祭前日(土)午後1時より開催しています。出席できなければ詠草だけでも、又出席されるだけでも良いので皆様一度参加してみませんか。お待ちしております。

【2月の詠草より】(敬称略)
春浅き溪に若葉の芹を
摘み炊き込む粥の仄かに香る
西 康吉
節分祭に張りつめし面の瀬織津姫に
無事を祈りつつ雨具を着せぬ
増井 さえ子

2月乙姫様月次祭執行

まさに寒の戻りである2月28日(金)午後1時、齋主II岩崎誠子連合会副会長、祭員II山田洋子・谷澤朗身・那須真智子、伶人II中畑祥子・小野なおみ各氏により肅々と乙姫様月次祭が執行された。新型コロナウイルス感染拡大予防の為、急遽、規模を縮小し参拝者不在での祭典となった。参拝者28名、祭典後、伊藤忠成本苑長より新型コロナウイルス拡散防止措置として3月本苑月次祭の縮小と終息祈願祝詞を奏上させていただき手洗いうがいの励行をお願いした。西野静枝連合会会長は直心会総会が3月28日(土)に延期になった旨、また緊急の連絡網に対応してくださったお礼を述べた。

第2回「生きがい公開講座」開催

令和2年2月19日(水)午後7時から大阪駅前第2ビル5階にて「出口王仁三郎の世界救済(地上天国への実践)」と題して令和の生きがい講座が行われた。

講師は浅田秋彦先生で、出口王仁三郎聖師の生い立ち・人物像・宣教活動・みろくの世への方策について講話された。参加人数は33人未信徒は12人、信徒は21人でした

第3回令和の「生きがい公開講座」みろくの世の経済

出口なお・王仁三郎の預言には世の立て替え・立て直しについて詳しく語られている。特に経済は今とはすっかり姿が変わる。これから来るみろくの世の経済に向けて何が整理され、我々は何を建設していけばよいか、そしてその道筋で何に気を付けていけばよいかを考える。

【会場】総合生涯学習センター
大阪梅田 第2ビル5階 第1研修室
【開催日時】令和2年3月18日(水)
午後7時~8時30分
【講師】藤原直哉
(経済アナリスト・株式会社あえるば代表取締役)

【参加費】無料
【申し込み】当日会場にて受付です。
定員(118名)
未信徒の方はもちろん、家庭内未信徒を誘って後継者育成に活用しましょう。(最部
【今後の内容予定】
4月15日「みろくの世への道筋」
5月20日「未来の世界・経済・教育」
6月17日「今求めらるる食・農・環境」

延期とさせていただきます

本苑春季慰霊大祭

なにはづ芸術祭のご案内

4月26日(日)に延期とさせていただきます

二代様毎年祭選拝祭のご案内

3月31日(火)午前10時より二代教主様の68年目の毎年祭選拝祭を執行致します。多数のご参拝をお待ちしております。

本苑4月春季大祭のご案内

4月12日(日)午前10時より大阪本苑の春季大祭を大本部長の鈴木順一先生をお迎えし、長生殿時代の総仕上げとなります。續の郷献金について、の詳細なご説明をしていただきますので、多数のご参拝をお待ちしております。

入試感謝奉告祭のご案内

4月12日(日)本苑春季大祭時に入試感謝奉告祭を執行行わせて頂きます。1月の入試合格祈願に参拝された方は、是非ご参拝下さい。

あべの防災センターに行こう!!

育成部では本苑春季大祭後
春のレクリエーションを開催します。

【日時】4月12日(日)本苑大祭祭典後
【行先】あべの防災センター
【解散】午後4時(予定) 大阪本苑にて
【参加費】無料

青少年のみなさんは是非ご参加ください。
お待ちしております。

全国愛善歌大会のご案内

5月4日(祝)亀岡万祥殿にて第26回全国愛善歌奉納大会が行われます。なにはづ合唱団は「愛善世界」(あいぜんせかい)を奉納させていただきます。是非参加よろしくお願いたします。

10月31日(土)に延期とさせていただきます

四代教主毎年祭選拝祭のご案内

4月29日(水・祝)10時より、四代様を偲び、19年目の毎年祭選拝祭を執行致します。多数ご参拝下さい。

第168回大本青年信徒研修会『高校生講座』参加のすすめ

感動いっぱい4日間!
日時 平成31年3月27日(水)~30日(土)
会場 両聖地(予定)
対象 新高校1年生から3年生(信徒外可も)
参加費 10,000円

第11回『少年祭式講習会』のご案内

正しい祭式を身につけよう!
日時 平成31年4月1日(月)~4日(木)
会場 亀岡市天恩郷
対象 新小学3年生~新中学3年生
参加費 7,000円

中止になりました

申込み 本部青年部事務局まで
締切 3月25日(月)
※詳しくは「大本」誌2月号を参照

申込み 本部青年部事務局まで
締切 3月20日(水)
※詳しくは「大本」誌2月号を参照

大阪本苑常設講座のご案内

大阪本苑では、毎月2~3回土曜日に「大本常設講座」を開催しています。未信徒・家庭内未信徒のお誘い合わせ宜しくお願い致します。

○午前10時より「身の上相談」
○午後2時より「生きがい講座」
○午後3時半より「みてしろお取次」
※一部の参加だけでも構いません。
参加費無料。お気軽にご参加ください。
【開催予定日】3月21日・3月28日
4月4日・4月18日・4月25日

●3~4月(一部) 行事予定

- 3月 8日(日) 本苑月次祭【参拝はご遠慮ください】 AM 10:00
- 10日(火) 祭服クリーニング【開催】 AM 10:00
直心会習字【中止】 PM 1:00
- 11日(水) お茶【中止】 AM 10:00
- 13日(金) エスペラント同好会【中止】 PM 2:00
- 14日(土) 常設講座【開催】
- 15日(日) 分所支部月次祭
- 16日(月) お茶【中止】 AM 10:00
- 18日(水) 生きがい公開講座【延期】 PM 7:00
- 19日(木) 浄書【中止】 AM 10:00
- 20日(金) 宣教部会【開催】 PM 7:30
- 21日(土) 常設講座【開催】
エス語入門講座【中止】 PM 6:30
- 22日(日) 春季慰霊大祭・なにはづ芸術祭 AM 10:00
【4月26日(日)に延期】
(準備・直会・トイレ掃除当番) 東大阪・松月・堺
- 24日(火) 祭服クリーニング【開催】 AM 10:00
エス語講習会【中止】 PM 2:00
- 27日(金) 本部高校生講座(30日(土)迄)【中止】
参事会【開催】 PM 7:00
- 28日(土) クリーン活動【開催】 AM 10:30
乙姫様月次祭【参拝はご遠慮ください】 PM 1:00
(直会当番) 三島・鶴橋・若松
- 31日(火) 二代教主毎年祭遥拝祭【開催】 AM 10:00



昨年12月10日付で近畿第一・第二両方の教区を担当させていただくことになりました小藪資史(こやぶもとふみ)と申します。出身は和歌山県で45歳です。何分至らぬ身でございますが、気がつかない点も多々あるかと存じますが、大神様のご守護、教主さまのご教導のもと、少しでもお役に立てさせていただければと思っております。

どんなことでもお気軽にお声をかけていただけましたらありがたいと思います。

小藪資史特派新任ごあいさつ

世界的にも、私たちの身の回りでもいろいろと難しいことが増えてきていますが、このような時代であるからこそ余計に「いま」何をすることが大切な時なのではないかと思えます。

私自身に何ができるといっわけではございませんが、皆さまとご一緒に、楽天主義にございます。刹那最善主義で、「いま」に最善を尽くさせていただいて、笑顔と明るく楽しい雰囲気、みらくの世に向かって、大神さまにお仕えさせていただけましたらと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

小藪資史特派在阪日程 4月12日(日)

小藪資史特派のお取次相談は、事前に本苑事務所までご連絡下さい。

- 4月 1日(水) 本部少年祭式講習会(4日(土)迄)【中止】
- 3日(金) 本苑運営委員会 PM 7:00
- 4日(土) 常設講座
- 6日(月) お茶 AM 10:00
- 7日(火) エス語講習会 PM 2:00
- 8日(水) お茶 AM 10:00
- 9日(木) 霊界物語拝読会 AM 10:00
- 11日(土) 短歌会 PM 1:00
誠心会幹事会 PM 1:30
エス語入門講座 PM 6:30
- 12日(日) 本苑春季大祭 AM 10:00
入試感謝奉告祭
春のレクリエーション
(準備・直会・トイレ掃除当番)
花園・天満・玉川
(お茶席当番) 御津ノ浜・若松

●み手代お取次

- 3月月次祭 小佐々 明夫 宣伝使
 - 3月春季慰霊大祭 浅田 信 宣伝使
 - 4月春季大祭 末延 隆利 宣伝使
 - 5月月次祭 田辺 嘉一 宣伝使
- ※お取次ご希望の方は事務所まで申し出て下さい。

「新型コロナウイルス」感染拡大防止に向けた対策について

大阪本苑の3月月次祭、春季慰霊大祭、乙姫様月次祭におきましては、役員または代表者だけで規模を縮小し、厳粛に執行させていただきますので、できる限り一般の方のご参拝はご遠慮いただきますようお願いいたします。

各自ご自宅にて選択していただきたくお願い申し上げます。

4月以降の祭典、行事につきましては、3月下旬にあらためて本部より通知がありましたらご連絡させていただきます。

神饌物献納御礼

2月祭典(本苑・乙姫様)には左記の方々より神饌物を献納頂きました。厚く御礼申し上げます。

- 杉谷 直樹様 (天満)
- 中村 春夫様 (神路)
- 岡尾 由貴様 (玉川)

本苑日誌(2月)

- 3日 節分大祭遥拝祭 (4人)
- 6日 霊界物語拝読会 (8人)
- 8日 短歌会 (9人)
- 誠心会幹事会
- エス語入門講座 (8人)
- 9日 本苑月次祭(餅つき) (211人)
- 分所支部長会議
- 11日 高熊山暁天参拝 (3人)
- 高熊山献勞奉仕 (15人)
- 祭服クリーニング (7人)
- 直心会書道 (14人)
- エス語初級会話 (14人)
- お茶 (8人)
- 大本神諭浄書 (4人)
- 宣教部会
- 日本苑常設講座 (2人)
- 生きがい公開講座 (33人)
- エス語同好会 (6人)
- 参事会
- エス語入門講座 (8人)
- 宣伝使・役員研修会 (82人)
- エス語講習会 (10人)
- お茶 (15人)
- 乙姫様月次祭 (27人)
- 運営委員会

帰幽報告(令和2年2月)

高司 泉 毘古(玉川)
2月6日 帰幽 享年 76歳
つつしんで哀悼の意を表します。